

会員投稿

『庭いじり』その1

鳥取市 高橋 正晨

我が家には庭（小庭）があります。庭を眺めて憩えるならと、家が出来て暫くしてから庭師に任せて作らせました。しかし、15年以上も立つ今日迄、この庭に満足した事は一度もありません。

自分が家庭用電気品の設計を担当していたせいか、嫌いな木を抜いて好きな木に植え換えたり、ミカン等の果樹を追加植えしたり、世界三大公園木である高野楨を植えてみたり、様々あります。その結果、庭師の意図した所は崩れ、成るが儘に成って更に満足しなくなつて行く様で、悪循環を繰返えしております。一体、庭や公園は何の為にあるのか、庭を作る前によく考えておく必要があったのではないかと、この事がずっと頭の中に残り続けていた様であります。



最近、誕生300年を迎えたサンクトペテルブルクの特別番組がありました。18世紀にピョートル大帝がロシアにヨーロッパの花を咲かせたいと、当時最も華やかであったベルサイユの庭をモデルにして、庭園を作らせた紹介であります。庭は日常性の逃げ場所であり、非日常性の叶えられる場所であるパラダイスでなくてはならないと言っております。

パラダイスには三つの要素が必要だといっておきます。第一は健康の向上に役立ち、身体を元氣にする要素があることです。これは発展して、現在の「果樹園」や「薬草園」となっています。第二は知性の向上に役立ち、心を鍛える要素があることです。これも発展して、現在の「公園」となっています。散策路で人と話し合い、話が煮詰まつて来るとベンチに腰をかけ、本氣で議論を深めて行った様です。こうして学問をし、知識を拡げて行つた様であります。第三は感覚の若さの向上に役立ち、感覚を磨く要素があることです。これもまた発展して、現在の「テーマパーク」となっています。不思議だと、驚愕するとか、噴水の水芸、この世にいない怪物、仕掛け等に依つて、素晴らしい若い感覚を磨いて行つた様であります。

我が家の中には、木斛（モッコク）、五葉松、黒松、椿、柊（ヒイラギ）、野村、イブキ、月桂樹、譲葉（ユズリハ）、山茶花（サザンカ）、ハナズオウ、連翹（レンギョウ）、梅、ツツジ、満天星（ドウダンツツジ）、石楠花（シャクナゲ）、紫陽花（アジサイ）、柘植（ツゲ）、雪柳、大山伽羅木（ダイセンキャラボク）、ナンジャモンジャ、紅葉等の樹木の他に、柿、ミカン、キーウイフルーツ、ブルーベリー、ブルーン等の果樹やベンチ、灯籠等はありますが、唯それだけの事の様に思われます。

話は変わりますが、鳥取市鶴谿（おおちだに）公園の近くに「啄（そったく）園」という庭園があり春と秋に一般開放されます。「啄」とは禅語で、機を得て両者相応ずるの意味があります。「作庭に際して最も意図することは、その周辺の景である。余りにも大きい鶴谿の山を手近に見、いかに借景とはいえ、バランスが必要である。そのため大石を用い大きい池を配した。ただこれだけは躍動に欠ける。滝組みもその事を考慮して後ろの山に力負けしないよう平石の中に湧き出る水源を考えた。」これが大自然と人間の「啄」であり、ここから「啄園」と名付けたといわれています。（次号に続く）

会員投稿 『庭いじり』その2 鳥取市 高橋 正晨

「卒啄園」は春はしたたるような新緑、夏は涼と深緑、秋は紅葉とすばらしい所であります。頂いたパンフレットの中に、中国の名言が載せられておりました。（右記）

人間の幸せとは
一時間の幸せなら、音楽を聞け
一日の幸せなら、美味しい物を食べて寝ろ
一年の幸せなら、結婚しろ
終生の幸せなら、庭を作って楽しめ

さあ大変な事になってきました。終生の幸せになれるパラダイスの庭なんか、大金持でなければ作れる訳がないであります。この歳になって、こんな当たり前の事が分かったとは何と言う馬鹿者であったろうかと思う反面、だから我が家では満足出来ないのが当たり前ではないかと気付いて少々嬉しくなったりもしました。誠に困ったものであります。だが、庭いじりは畠仕事と同じ様に誠に楽しいものであります。自分の好きな様に、庭いじりをすればそれで良いのではないか、我が家の庭いじりをすることが終生の幸せだと中国の名言が教えてているではありませんか。何でも良い、創意工夫したものが一つでも有れば、幸せではないか、庭師に任せるも良し、自分で創意工夫して楽しむ（苦しむ）も良しとしましょうか。

所で、鳥取市の旧袋川多目的公園（重箱緑地）基本計画検討委員会の委員として、どんな公園にすべきか参画し、悩んでいる所であります。鳥取市としてはかなり大きな自然公園なので熱心な議論がなされていますが、童謡、唱歌のふるさと鳥取県の生んだ岡野貞一作曲の「ふるさと」にふさわしい公園にしたいと、夢を生かすべく頑張っている所で。庭に対する憧れを、この際一つでも叶えてみたいと思っております。最後に、日本は勿論、最近は世界でも歌われる様になって来ている「ふるさと」の歌詞を下記しますので、何かの機会に口吟んでみて下さい。私達にとって、一番大切な童謡唱歌ではないでしょうか。懐かしいふるさとが目に浮かび、蘇って来ます。

「ふるさと」

- | | |
|----------|------|
| 一、兎追いし | かのやま |
| こぶなつりし | かの川 |
| 夢は今も | めぐりて |
| 忘れがたき | ふるさと |
| 二、いかにいます | ちちはは |
| つつがなしや | ともがき |
| 雨に風に | つけても |
| おもいいずる | ふるさと |
| 三、こころざしを | はたして |
| いつの日にか | 帰えらん |
| 山は青き | ふるさと |
| 水は清き | ふるさと |

